



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEE '99 8月号



8月の寄贈品コーナー

月をめぐって

8月5日～9月11日

この夏は月がいろいろな話題を提供しています。

7月28日には部分月食が起きました。地球の陰に満月の月が一部入り込んで、月に地球のまるい陰がおちるのが見られました。

7月末には、アメリカのアポロ計画による人類初の月着陸から30年が経ち、二十世紀最大の冒険事業に再び注目が集まっています。1969年7月21日、アポロ11号の月着陸船が月面の静かの海に着陸しました。そして地球以外の天体に、人類にとって初めての第一歩が記されました。アポロ計画はその後17号まで続き、月のいろいろな地域の岩石を収集しました。これらは世界中の地質の専門家に配られ、月の成因や月と地球の関係を知る手がかりとなりました。

8月11日には今世紀最後の皆既日食がヨーロッパから西アジアにかけて見られます。月が太陽をおおい隠す皆既日食は、太陽のまわりに広がるコロナを肉眼で見ることのできる唯一の機会です。

今回の寄贈品コーナーでは、これら月にまつわる話題を写真、ビデオなどで展示します。

みんなで調べよう 平塚のカタツムリ

今年度の「みんなで調べよう」では、平塚市内のカタツムリをテーマに選びました。以前と比べて、雨の多い梅雨時にもカタツムリを見かけることが少なくなっているのではないかという声をきっかけに決めたもので、市内にはどんな種類のカタツムリがいるのか、市街地と郊外ではいる種類や数に差があるのか、カタツムリが多く見られるのはどんな環境かなどを調べることを計画しました。

全部で29名の参加者があり、5月29日に博物館でガイダンス、6月6日に土屋で観察会を行って、カタツムリの見つけ方や見分け方についての予備知識を持って頂きました。その後、それぞれが家の近くで1ヶ所、郊外で1～2ヶ所を分担して調査を行い、7月4日に集めたカタツムリを持ち寄ってまとめの会を行いました。この調査では、大磯町の福田良昭さんにカタツムリの同定などについて、指導を頂きました。詳しいまとめは、現在進めているところですが、目立った点を紹介することにします。

今回の調査で、市内から記録された陸貝で種類のはっきりしたものは、ミスジマイマイ・ヒダリマキマイマイ・ウスカワマイマイ・オナジマイマイ・コハクオナジマイマイ・エンスイマイマイ・カドバリニッポンマイマイ・ヒカリギセル・ニッポンケシガイ・タワラガイ・ウメムラシタラ・コシタカシタラ・ヒメベッコウ・トクサオカチョウジガイ・ホソオカチョウジガイ・オカモノアラガイ・ナガオカモノアラガイ・ナメクジ・ヤマナメクジ・チャコウラナメクジの20種類でした。予想したよりも多くの陸貝が平塚市に分布していることが分かりました。

代表的なカタツムリであるミスジマイマイは、調査を行った28ヶ所のうち、24ヶ所もで記録され、思ったよりも健在でした。市街地でも、松風町や桃浜町などで見つかっており、古くからの住宅地では今でもよく見られるようです。

ミスジマイマイに次いで広く見られたのは、ヒカリギセルでした。土屋や吉沢、南金目などの丘陵地だけではなく、松風町のブロック塀でもたくさん見つかったのが意外な結果でした。

土屋ではオカモノアラガイの仲間が2種類、座禅川ぞいの草むらで記録されました。オカモノアラガイは水中にすむモノアラガイやサカマキガイに姿は似ていますが、カタツムリの仲間では、その証拠に目のついた角を出します。

コハクオナジマイマイという、本来は西日本に分布するカタツムリが、数多く発生していることが分かりました。植木などについて持ち込まれたものが増えたのかもしれませんが、関東では珍しい例で、福田さんが学会での報告をされる予定です。このカタツムリは黄色い内蔵が殻を通して透けて見えるので、見分けが簡単です。



オカモノアラガイ



夏期特別展
自然探偵・
野道を行く

好評開催中！

8月29日まで

図録700円 / 読み聞かせに使える楽しい絵本です。ぜひお求めください。

市内戦跡めぐり - 戦争遺跡の見学と空襲体験を語る -

戦前の平塚市は、第二海軍火薬廠をはじめ多くの軍需工場が集中する都市として知られていました。そのため、太平洋戦争末期の昭和20年7月16日から17日未明にかけ、米軍の激しい攻撃を受けます。いわゆる「平塚大空襲」です。

焦土と化した平塚市は、敗戦後いち早く戦災復興都市の指定を受け、現在では県下有数の商工業都市に生まれ変わりました。整然と整備された町界と街区、そして道路網は周辺都市にはない姿になっています。

新しく生まれ変わった現在の姿から、かつての軍都、平塚市を想像することは難しいのですが、くまなく、それも丹念に街の中を見ていくと軍需工場の一部が、空襲の爪痕が、記念碑が、記念樹がという具合に、市内には実にさまざまなものが残されています。

こうした戦争にまつわる建物や遺物、記念碑などを巡り見て、当時の平塚の姿、都市としての役割、空襲の実像を考えてみたいと思います。

市内戦跡めぐり

期 日：8月12日(木)、8月19日(木)(二日間とも小雨決行)

時 間：午前 9:30～(二日間とも)

持 ち 物：筆記用具、小型バインダー(A4版)、昼食、飲み物

参加方法：自由参加

<主な予定見学ルート>

8月12日(木)

集合場所・・・平塚農業高校正門前

- ・平塚金属工業・・・現工場全体
- ・共済病院・・・外来診療棟、汽缶場、防火用水槽
- ・横浜ゴム平塚工場・・・火薬廠総務部建物、参考館、奉安殿、水交社、武道場
- ・富士チタン・・・綿葉精製場、綿葉煮洗場、綿糸倉庫、構内軌道、汽缶場
- ・高砂香料工業・・・現守衛詰所
- ・その他・・・焼け残った電柱、火薬廠敷地境界石柱、海軍技術研究所実験場

8月19日(木)

集合場所・・・平塚駅南口

- ・米善・・・プレス装置、残った煙突、灯籠
- ・乗蓮寺・・・焼夷弾貫通後、破壊された墓石
- ・三興精鋼・・・機銃弾の残る工場、慰霊碑
- ・蓮光寺境内・・・犠牲動物慰霊塔
- ・神明神社・・・焼け残ったイチョウ
- ・その他・・・須賀忠魂碑、馬入忠魂碑



博物館カレンダー

1999年8月

1	日	○ こども観察会「川を歩く」	金目川
		地質調査会	科学室
		天体観察会「スターウォッチング調査」	屋上
		☆ 特別展「自然探偵・野道を行く」 (~8月29日)	特展室
		☆ 寄贈品コーナー「月」 (~9月11日)	展示室
4	水	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
5	木	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
6	金	古文書講読会	講堂
		○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
7	土	地質調査会	野外
		天体観察会「スターウォッチング調査」	屋上
		○ 特展記念「自然探偵入門」	科学室
8	日	民俗探訪会「学習会」	講堂
11	水	地質調査会	特研究室
12	木	石仏を調べる会	特研究室
		天体観察会「流星群」	函南
		◎ 市内戦跡めぐり	野外
13	金	古文書講読会	講堂
15	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
18	水	裏打ちの会	科学室
19	木	◎ 星を見る会「月」	屋上
		◎ 市内戦跡めぐり	野外
20	金	古文書講読会	講堂
22	日	古代遺跡を探す会	野外
24	火	○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
		○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	野外
25	水	◎ 自由研究相談会	科学室
26	木	石仏を調べる会	特研究室
		○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
27	金	古文書講読会	講堂
		○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
28	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
29	日	相模川の生い立ちを探る会	忍野

1999年9月

1	水	☆ 寄贈品コーナー「月」 (~9月11日)	展示室
3	金	古文書講読会	講堂
4	土	地質調査会	科学室
5	日	民俗探訪会	野外
8	水	博物館実習(学芸員志望大学生) (~9月16日)	博物館
9	木	石仏を調べる会	特研究室
10	金	古文書講読会	講堂
11	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		天体観察会「黒点」	屋上
		☆ プラネタリウム「流星雨の降る夜」 (~11月7日)	プラネ室
12	日	○ 自然観察会	野外
16	木	☆ 寄贈品コーナー「実習生展示」 (~10月31日)	展示室
17	金	古文書講読会	講堂
		☆ プラネタリウム「学校投影」	プラネ室
18	土	地質調査会	野外
19	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		古代遺跡を探す会	野外
22	水	地質調査会	特研究室
24	金	古文書講読会	講堂
25	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
26	日	相模川の生い立ちを探る会	金時山

◎自由研究相談会

夏休みの自由研究の相談にご利用ください。
日時：8月25日(水) 午前9時~12時
場所：科学教室 参加：自由

◎ろばたばなし

相模地方の伝説と昔話を語ります。
日時：8月15日(日) 午後1時半と3時
場所：1階展示室民家内 参加：自由

◎星を見る会「月と夏の星たち」

月や夏の星々を望遠鏡で観察します。
日：8月19日(木)
時間：19:00~20:30
場所：博物館屋上(集合は科学教室)
参加：自由

☆寄贈品コーナー「月」

望遠鏡で撮影した月面写真・人間を月に運んだアポロの映像などを中心に展示します。
会期：8月5日(木)~9月11日(水)

☆プラネタリウム「さよならお月さま」

あやちゃんの家をいたずら毛虫は、追いかけられるとなんと月まで逃げ出しました。さあ、大変・・・
・期間：9月5日(日)まで
・夏休み中は、水木土日の 11時と14時
・観覧料：100円

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料)

○：申込制 ◎：自由参加

その他は年間会員制

あなたと博物館 24巻5号通巻271号 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel. 0463-33-5111 Fax. 31-3949